



焼杉壁掛け工作



活動内容	あらかじめカットされた杉板で、オリジナル壁掛けを作ります。薪割や火おこし、杉板を焼いて仕上げるところまで体験できます。「玄海の家」での思い出を形として残すことができる活動です。
------	--

対象	必要時間	活動人数	活動形態	
小学生以上	2～3時間	120名	グループ(4～6名)	
活動場所	必要引率者	活動適正期間	自然・感性	◎
野外炊飯場	安全管理	通年	創意工夫	◎
			主体・計画	○
			粘り強さ	
			協調・協働	
			人間関係	

		利用団体	「玄海の家」の職員
活動の流れ	事前	【打合】活動場所 準備物、薪割の仕方、杉板の焼き方、開始時間等の確認	【打合】活動場所
	活動	【準備】工作中使用する物品の用意 ※食堂で物品(ヒートンと麻紐)を受け取る 【集合】活動場所 ①薪割の説明を聞く(10分) ②薪割開始(30分) ・鉋、ブロック、薪の準備 ・細薪10本、中薪10本ずつ割る ・鉋、ブロックの片付け ③火おこし及び焼杉にするまでの説明を聞く(5分) ④火おこし及び焼杉開始(80分) ・マッチで新聞紙に着火する ・杉板を両面焼き上げる ⑤焼杉壁掛け工作完成までの説明を聞く(5分) ⑥焼杉壁掛け工作開始(30分) ・たわしや布で磨き上げ、ポスカで装飾を行う ・ヒートンと麻ひもを取り付ける 【片付】使用した用具と活動場所の片付けを行う 【解散】研修生は引率者の指示に従う	【準備】工作中使用する物品の用意 【指導】活動上の指導を行う ・薪割の説明 ・火おこし及び焼杉にするまでの説明 ・焼杉壁掛け工作完成までの説明
	事後	【片付】物品を返却する その他の貸出物は活動場所に置いておく	【片付】物品の返却を受ける

引率者の役割	・安全、用具の管理を行う
活動の留意点	・作業中は必ず軍手を着用する。指導者は皮手袋を着用し、研修生の補助をする ・目安として、2かまで薪を1束使用します。
「玄海の家」で準備できるもの	【貸出】鉋、たわし、きり、火ばさみ、皮手袋
利用団体で準備するもの	軍手、ポスカ、雑巾、マッチやチャッカマン等、新聞紙、救急医薬品 【購入】焼杉セット「杉板、麻ひも、ヒートン」(200円/人)